

日本人学校と補習授業校

～その違いは何か。自らの体験で感じたこと～

校長 森 勝義

インディアナ日本語学校校長として早くも3年目後半になりました。横浜の中学校で管理職として12年勤め、文科省の命を受けてここインディアナに単身赴任いたしました。

日本人学校は日本国内の小・中・高と同等の教育課程を有する旨の認定を受けています。世界49カ国に94校が設置されています。以前、私が赴任していたKL日本人学校は幼小中、約900名の子ども達が日本と全く同じ授業を学んでいました。

補習授業校（日本語学校）は現地校に通学している子ども達が土曜日に通って学んでいます。現在、世界51カ国、242校が設置されており、約2万1千人が学んでいます。

私がKL日本人学校とインディアナ日本語学校に勤務して感じたことは子ども達の熱量、先生方の熱意です。日本人学校は日本の学校がそのまま外国に移転し、授業を展開し、先生方も日本全国から派遣されてきています。日本の学校と同じく、いじめやケンカ、生徒指導等がありました。

しかし、ここインディアナ日本語学校ではほぼ皆無です。当然トラブル等の件数はいくらかあります。しかし、主任の先生を中心に担任の先生方は報連相を密にし、解決してくれています。何よりも、先生方は教えることを楽しんでいます。

それ以上に子どもたちは級友に会うのを楽しみにし、土曜日の8時半から午後2時まで笑顔で過ごしています。私自身、毎時間授業見学に行っていますが、先日、心にぐっときて泣きそうになった場面がありました。それはある教室に5時間目の終わり近くに行ったとき、ひとりの子が私の横でぼつりと言いました。

「もうおわっちゃうの。また一週間我慢しなきゃいけない。さみしいな」

どんな言葉よりも尊いです。保護者の方々はお仕事・家事を精一杯がんばってらっしゃいます。ですけど、子どもたちは底知れないプレッシャーと戦い、日々を生きています。そのこどもたちの心のよりどころ、たまり場がインディアナ日本語学校なんです。世界242校の中で1番の学校だと自負しています。ラグビーのレフェリーとして9カ国を訪れ、その国の日本人学校を訪れました。健気に異国の地で頑張っている子どもたちの姿を見ると泣けてきます。

3年前、この学校に着任した時もオーチャード校の先生方、保護者の方々、先生方もとても温かく迎え入れてくださいました。

何よりも感銘を受けたのは先生方の教育に対する熱意です。ご自分の仕事を持ちながら、日々教材研究をし、土曜日に備える姿勢には頭が下がります。ましてや、昨年、今年、来年と順次、小中高の教科書が新しくなり、指導法も新たにしなければなりません。教育課程に則った授業を展開しなければなりません。土曜の朝、私が7時30分に解錠しているんですが、先生方はすでに正面玄関前で待機されています。校舎内に入るやいなや、ご自分の教材をひたすらコピーし、授業に備えています。当然、宿題も作成されています。保護者の方々が日本語学校に期待する熱い想いは痛いほど感じています。校長として、いちサポーターとして子どもたち、先生方を全力で守ります。

「祖母が育てた野菜」について

赤木 碧海

祖母が農業を始めた理由は、前やっていた仕事をやめて、ひまができたからだそうです。農業をやっているとき、毎日「良い野菜ができますように。」と心の中で思っていたそうです。でも、とても残念なことがあったそうです。それは、野菜が上手にできなかったり、虫に食べられたり、他にも色々あったらしいです。わたしが一番すごいと思ったのは、夏に9種類の野菜を育てたことです。トマト、キュウリ、カボチャ、マンガンジトウガラシ、ナス、コマツナ、ネギ、スイカ、そしてメロンです。祖母に「農業をやってよかった？」と聞いたら、「野菜を作ったあとは、達成感が味わえていいです。」と言っていました。わたしがとても印象に残ったことがありました。それは、「よい野菜ができますように。」と思いながら、祖母が野菜を育てていることです。わたしも同じように花を育てた時に、きれいな花になりますように。」と願っていました。この夏、わたしは祖母の野菜を食べました。それはとてもおいしかったです。これからもおいしい野菜を育ててほしいので「祖母の野菜がおいしくなりますように。」と願いたいと思いました。

「祖母の仕事」について

崎新谷 樹

ぼくの祖母は、司法書士という仕事をしています。なぜ祖母に聞いたかという、いつも祖母の家に行くと、忙しそうに仕事をされていて、何の仕事をしているのか気になったからです。司法書士になるためには、国家試験に合格することが必須で、合格率は約3%から4%です。試験に受ければ、2ヶ月から3ヶ月研修を受けて、名簿に登録することで、司法書士になれます。司法書士という仕事は、土地や家、会社をつくるときの登記をする仕事です。登記とは、国に所有権を申請することで、不動産売買や会社を起業するときに欠かせない申請です。ですが、この過程で地面氏という土地の所有者になりすまして土地を勝手に売ってお金をだまし取る人間を見分けるために苦労しているそうです。また、認知症の人の銀行貯金の管理をすることもあるそうです。司法書士をやっていて一番うれしかったことは、遺産相続のトラブルが自分の努力で解決したときだそうです。

難しいことを終えたときの達成感がひとしおらしいです。インタビュー中の祖母の姿はいつもと違って見えるように見えました。70歳を超えても事務所を構えて仕事をする姿がとてもカッコいいと思いました。

小学4年2組 夏休み読書感想文 「猫の恩返し」を読んで

江頭 勇樹

ぼくは、ジブリえい画が好きです。日本語学校の図書館でジブリの本を見つけました。その本の題名は、「猫の恩返し」といいます。ハルという高校生の女の子、猫のバロン、ムタ、猫王、ルーン、白猫のユキなどたくさんの猫が登場します。

主人公のハルは、ふつうの高校生の女の子ですが、動物の命を大切にしやすいせいかくです。ある日、猫がひかれそうになったところを助けたために、猫の国へ連れていかれました。

この本を読んでおもしろかったところが三つあります。一つ目は、猫王が登場する場面です。とても太っていて、せいかくも悪く想ぞう通りでした。ムタという体が大きな猫もぼくのお気に入り、いつも文くばかり言うのに、食べ物をもうらときだけ、せいかくがよくなり、とてもおもしろかったです。

二つ目は、ハルが猫になりかけたところです。耳やひげが生えてきて、猫のバロンにこいします。もし、ぼくが猫になったらどう思うんだろう。少し猫の世界を見たくまりました。

三つ目は、白猫のユキちゃんが、ハルが昔助けた白猫だったことです。のら猫で、本物の世界にいたのに、猫の国にどうやって入ったのか不思議に思いました。さい後に、ユキちゃんはハルちゃんを助けて恩返しをします。やさしくされた人は、ずっとわすれないんだなと思いました。いつか、そのやさしさが返ってくるのです。

この本を読んで、楽しい猫達やハルが、明るく前向きに生きていくすがたに元気をもらいました。

「まほうの自動はん売機」を読んで

油家 心海

私がこの本を選んだ理由は、まほうの自動はん売機からどんな物がでてくるのか、ぎ問に思ったからです。

主人公のこういへい君が、商品の見本もお金を入れるところもない、にじ色の自動はん売機を見つけ、ボタンをおしたら、自分に今必要な物が出てくることに気づきました。それを知ったお母さんは、自動はん売機をさがしボタンをおしました。すると、自動はん売機は光になってなくなっていました。

私が、この本で心にのこっている場面は、二つあります。一つ目は、こういへい君がゆう気をふりしぼって自動はん売機のボタンをおしたところです。なぜなら、こういへい君のゆう気を出すという行動が、自分とにいて、とてもうれしかったからです。

二つ目は、自動はん売機がきえてしまったところです。私は、このままだと、こういへい君が自動はん売機にたより続けてしまうと感じ、卒業してほしいと思いました。お母さんも私と同じことを考えていたのではないかと思います。私は、この本の「さい後までぼくの見方だったんだね。」という文を読んで、自動はん売機もこういへい君のことを思って、にじになってきえてくれたんだと思いました。

私は、この本を読んで、何ごとにもすぐに頼らず、まずは自分でちょうせんしてみることが大切だと思いました。

「シャーロック・ホームズ」を読んで

岸 健ご

この本に出会ったのは、日本に一時帰国したときです。本屋でこの本を選び読んでみたら、名探偵シャーロックホームズが、だれもかい決できない事けんにいどむという話でした。そこで、自分でも事けんの真相を考えながら読んでみようと思いました。

ぼくがおもしろいと思ったのは、ホームズのれいせいさと観さつがんです。どんなじょうきょうでも落ち着き、周りをじっくり見るところが、すいり力につながっているんだと思いました。また、ホームズは、実験が好きで、毒物にくわしいところがあります。

そして、「シャーロック・ホームズ」にかかせない重要な人物がいます。それは、ワトスンです。ホームズの親友のお医者さんで、たまたまホームズと同じ部屋でくらすことになりました。そして、「シャーロック・ホームズ」は、ホームズの活やくを、助手のワトスンが書きとめた本なので、ワトスンがいなければかん成しなかったのです。

このように、「シャーロック・ホームズ」は、名探偵シャーロック・ホームズが事けんにいどむという面白い本です。みなさんも読んでみてください。

夏休みの出来事

6年1組 濱石 朋佳

6月に日本に一時帰国しました。日本で一番楽しかったことは、学校に行ったことです。なぜかというと、補習校では習わない理科や音楽などもやるからです。学校んプールの授業が楽しかったです。二番目に楽しかったのは、友達と一緒ににお出かけに行ったことです。とくにゲームセンターでクレーンゲームをしたのが楽しかったです。次にお友達とゲームセンターに行く時は、もったくさん景品をとりたいたです。三番目に楽しかったことは、キッザニアに行ったことです。とくにおすしをにぎる体験が楽しかったです。手にしゃりがとてもくっついて大変だったけど、おすしを作る時にぎゅっとにぎるのと、ぐんかんを作る時にのりをまいたのが楽しかったです。最初はあまり仕事ができると思っていなかったけれど、7個仕事できてとてもうれしかったです。キッザニアのお金だけでお買い物ができる場所がありました。しかし、高かったのであまり買えるものはありませんでした。来年またキッザニアに行くので、またお金をためてかわいい物を買いたいたです。次に日本に一時帰国するときは、たくさんおかしを買いたいたです。

後藤 楓	・夏休み 学校なくて さみしいな
大隈 心遥	・現地校 先生片手に コカコーラ
藤井 大翔	・もりあがる ぼくの楽しみ ペイサーズ
ノーウッド愛菜	・夏休み 目かくしをして スイカわり
茅野 理仁	・夏が来た いっぱい友だち 作りたい
山崎 みのり	・一学期 とっても楽しい 日々だった
山本 穂高	・ゲームして あっという間に 時間たつ
野沢 あやめ	・夏の夜 キラキラ光る ゆうえんち
大石 妃羅	・兄二人 いつもしつこい うっとうしい
伊藤 柚那	・かき氷 いちごのシロップ したまっ赤

◎8月16日

＜投稿作品＞ 土曜パラダイスで紹介

小学3年	読み人知らず	「頭丸め 気を引き締める ハゲ校長」
小学3年2組	後藤 楓	「こうちょうが イメチェンしたけど ハゲなった」
小学5年1組	野林 航大	「あさやけが きれいにかがやく とうことじ」
小学4年1組	読み人知らず	「バス当番 たいへんそうな お仕事だ」
小学2年2組	やまもとこ	「うんどうかい80メートルそう つらすぎる」
高校1年	読み人知らず	「寝落ちして メイク落とさず ビジュ最悪」
小学6年2組	河本 瑛真	「楽しみは 暑い夏中 友だちと近くの小川 遊びに行くとき」
ダジャレコーナー		
小学4年1組	読み人知らず	「レタスを 切るの つかレタス」
9ねん2組	はっとりせりか	「百円 くつてみ 「ひゃーくえん」」



ヒゲ森の言葉の森・探検



誰だって、ほんとうにいいことをしたら

いちばん幸せなんだねえ。

宮沢賢治

1896年～1933年 詩人・童話作家

人間は、他者のためになることをしたとき、とても幸福で充実した気持ちになるものだ。

ちようさん ぼし

朝二暮四

目先の違いにとらわれ、同じ結果であることに気がつかない。また、巧みな言葉でだますこと